

第50話

面接に正解・不正解はない

面接に正解・不正解はないと言うと、それはどうでしょうと思われる方も多いと思います。

でも実際には、正解探しの質問を受けることがよくあります。

「〇〇の質問には何て答えるのが良いのでしょうか？」 「これは言ってはダメですよね？」 等々・・・

今一度、何のために面接するのか考えてみましょう。

応募書類だけではわからない、その人の人柄や考え方、個性などを知りたいからではないでしょうか。

だとしたら自分のことをどう話し、どう伝えるかということが大事ですよね。

何を言うと正解で内定に繋がるというものではありません。

例えば、アルバイトを上司とケンカして辞めた経験があるとしています。

①上司はガミガミ怒るばかりで、仕事のこと何も教えてくれなかった。

②あの時は初めてのバイトで何もわからなかったけれど、忙しい時間はずして、自分でも考えてみてから質問をするようにしたら良かったかもしれない。

事実は1つですが、①と②を比べると印象は違ってきます。

どう話すかを考えてみましょう。

言葉以外でも実は多くのことを伝えています。表情、しぐさ、手の動き、目の輝きなどに無意識に気持ちが表れます。

何を話すかだけではなく、このようなことも頭に入れ面接に臨んでください。

※学卒ジョブサポーターは、県内15か所の全てのハローワークに配置されています。

今回はハローワーク川口 学卒ジョブサポーターからの一言でした。

